

(別紙5)

補助事業番号 27-1-120
補助事業名 平成27年度 地域ふれあい交流活動 補助事業
補助事業者名 弥彦村立弥彦小学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

- ・子どもが主体的に地域とかかわることによる地域愛と地域貢献意欲の向上
- ・子どもの地域のひと・こと・ものとかかわる力の伸長と社会性の育成
- ・子どもが地域で活躍することによる地域の活性化
- ・子どもが参画する地域づくり、まちづくり

(2) 実施内容

○地域ふれあい交流「We Love 弥彦 “Yahiko発見隊”プロジェクト」

(<http://www.neptune.jstar.ne.jp/~yhkshou/>)

ア 全校への法被を使って活動をすることをPR



【1学期の終業式での法被の紹介】

1学期の終盤に本事業を活用して作成した法被が納品された。そこで、終業式の校長講話で、本事業のこと、それを活用して法被を100着作成したこと、明日からの燈籠まつりで6年生が早速この法被を着用して参加すること、他の学年も「弥彦タイム」など、地域に出かける活動においてはこの法被を着用して、みんなで弥彦のよさを伝えていくことなどが紹介された。

(別紙5)

イ 燈籠まつりでの地域ふれあい活動



【燈籠まつりへの参加】

7月25日に日本三大燈籠祭りの一つとして数えられ、国の重要無形民俗文化財にも指定され、約1000年の伝統を誇る弥彦燈籠まつりが開催された。毎年子どもたちは参加して伝統に直に触れているが、今回は本事業で作成した法被を着用して参加した。そろいのオリジナルの法被を着用して参加することで、一体化感が高まるとともに、地域の人たちに対しても頑張っている子どもたちの姿を示すことができた。

ウ 文化祭の発表会での弥彦山太鼓の演奏



【文化祭での弥彦山太鼓の演奏発表会】

10月24日に文化祭が行われた。文化祭には全校児童・保護者をはじめ地域からもたくさんの人たちが参観に来る。通常の商品展示だけでなく、クラブ活動の発表会も行われ、その中で日本文化クラブが地域の伝統的な和太鼓である「弥彦山太鼓」の演奏発表を本事業で作成したそろいの法被を着用して行った。力強い子どもたちの発表に多くの人たちが拍手喝采した。

(別紙5)

エ 菊まつりなどでの観光ボランティア



【菊まつりの観光ボランティア】

11月に弥彦神社境内で開催される「弥彦菊まつり」は、質や出品数において全国有数の規模を誇っている。そのために、県内外からたくさんの観光客がこれをめあてに訪れる。4年生は自分たちの作った菊も出品しているので、そのPRを本事業で作成した法被を着用して行った。3年生は「弥彦タイム」で学んだことをまとめた観光パンフレットを、法被を着用して配布して、観光ガイドとして案内をした。

2 予想される事業実施効果

1年間の活動を通して、子どもたちは地域に対して自分たちは何ができるかを真剣に考え、地域への貢献意欲や地域を愛する心を高めることができた。

法被はこれからも引き続き学校の教育活動や地域の交流活動で使用していく。継続して活動を続けることで、子どもたちの地域への貢献意欲や地域を愛する心をさらに高めていくことができる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

特になし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

特になし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 弥彦村立弥彦小学校 (ヤヒコソソリツヤヒコショウガッコウ)

住 所 : 〒959-0311

新潟県西蒲原郡弥彦村大字井田3477

代 表 者 : 校長 坂井 育男 (サカイ イクオ)

担 当 者 名 : 教頭 佐藤 由栄 (サトウ ヨシエイ)

電 話 番 号 : 0256-94-2043

F A X : 0256-94-2221

E - m a i l : yhkshou@mercury.jstar.ne.jp

U R L : <http://www.neptune.jstar.ne.jp/~yhkshou/>